

事務事業評価

平成 30 年度

担当課 しまばら観光おもてなし課

基本事項	事務事業名	島原城七万石物語事業					整理番号	1508			
	根拠法令等						実施を義務付ける規定	○あり ●なし			
	関連する市勢振興計画の基本計画	章	第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する			予算科目	7 款 1 項 3 目		●継続 ○新規		
		節	第2節 交流活動推進			事業区分	助成・育成				
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	長引く景気低迷に、東日本大震災等の影響も重なり、島原城を訪れる観光客が低迷していた折、平成21年度から緊急雇用創出事業を活用し、武家時代の侍や町人の衣装を着た案内人を配置し、往時の城下町の風情を醸し出すことにより、施設への集客を図る「島原城・武家屋敷城下町風情創出事業」による案内人のおもてなしが話題を呼んだ。その後、さらなるサービスの提供を図るため武将隊による演出・おもてなしを行い、観光客から好評を得るなどの効果から、平成22年度以降前年を下回っていた入館者数が、25年度は前年度比9パーセント増の結果となった。このことから、引き続き事業を継続し、入館者増を図っている。					計画期間	始期	平成	26	年度から
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原市を訪れた観光客に対し、島原藩七万石の成り立ちを当時の歴代藩主等の登場を含めながら史実に基づき、当時を彷彿させるような歴史演出等を行うことで、島原ならではの魅力体験などを通して観光客の満足感・充実感を高め、観光の活性化、誘客の拡大を図る。					終期	平成		年度まで	
	目的達成のための 具体的手段・方法	(株)島原観光ビューローへの業務委託により、武将隊を配置し、併せて緊急雇用創出事業(平成23年度～25年度)において制作した甲冑を活用した武将体験などにより、観光客へのおもてなし等を行う。 (1) 演舞披露 (2) 甲冑及び装束、その他小道具の維持管理 (3) 体験・PR活動									
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	28 年度	29 年度	30 年度				
		①島原城入館者数(暦年)	目標	人	130,000	135,000	140,000				
実績			人	126,512	130,681						
達成率			%	97.3	96.8	0.0					
②観光客入込客数(暦年)		目標	人	1,320,000	1,400,000	1,480,000					
		実績	人	1,165,851	1,370,121						
	達成率	%	88.3	97.9	0.0						
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①PRのための市内イベントへの参加	目標	回	-	36	36					
		実績	回	-	36						
	②PRのための市外イベントへの参加	目標	回	-	12	12					
		実績	回	-	10						
事業費等の推移	年度		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画			
	① 直接事業費(千円)		12,776	14,536	11,043	15,238	15,000	15,000			
	財源内訳	国 県 支 出 金	5,110	5,814	5,262	7,619	7,500	7,500			
		地 方 債	0	0	0	0	0	0			
		そ の 他	0	0	0	0	0	0			
		一 般 財 源	7,666	8,722	5,781	7,619	7,500	7,500			
	② 従事職員給与費 b1×b2		146	149	150	151	153	0			
	従事職員数(人) b1		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02			
	職員平均人件費 b2		7,317	7,438	7,484	7,546	7,663				
事業費合計 ① + ②		12,922	14,685	11,193	15,389	15,153	15,000				

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている	判定
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 島原城を舞台にした事業であるため、島原城の指定管理者でもある(株)島原観光ビューローに委託して実施	A -
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録され、島原・天草一揆にも関心が寄せられており、時代背景に応じたキャスティングができています。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 島原城における演舞披露だけでなく、市内外のイベント参加や出演依頼があつている。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 島原ならではの魅力を体験してもらい、また情報発信することにより、リピーターを増やす工夫が必要。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 島原城への来城数は前年度を上回っており、一定の効果は上がっている。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 人件費が事業費の9割近くを占めているが、武将隊を組むには一定数の人員を確保する必要がある。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある (株)島原観光ビューローに委託している事業であるため、今後現状に応じて協議・検討を行う。	-
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 本事業による集客は、島原城の収益につながることから、今後、(株)島原観光ビューローの自主財源による運用(事業実施)を検討すべきと思われる。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	-

判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算	2.71
---	-------------

◎ 総合自己評価（所管部署）

<p>● A 継続実施（特段の見直しは行わない）</p> <p>○ B 改善・見直しを行う</p> <p>○ B1 事業規模の拡充</p> <p>○ B2 事業規模の縮小</p> <p>○ B3 事業内容の改善・見直し</p> <p>○ B4 その他の見直し</p> <p>○ C 休止（隔年実施などへの変更）</p> <p>○ D 廃止（終期の設定等を含む）</p>	判断理由	<p>長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録され、島原・天草一揆にも関心が寄せられており、今後、島原城への観光客の増加が期待されている。そうした中、時代背景に応じたキャスティングができています。武将隊を配置してPRすることで相乗効果が得られるため、地方創生推進交付金を活用し、継続して実施するものである。</p>
--	------	--

今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 事業内容の改善などを常に行っていく。
-------------------	---------------------------------

・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。

【2次評価】

総合判定	A 継続実施（特段の見直しは行わない）
備考	観光客の満足度向上につながっていると想定される。特定の財源はあるものの多額の市費を必要とすることから、さらにたくさんの観光客を呼べる魅力的な事業となるよう期待する。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input checked="" type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	0 (千円)